PROXXON
マイクロ・ニブラ

No.27550　取扱い説明書

この度は、マイクロ・ニブラをお買い上げ頂きありがとうございました。
安全かつ能率よくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの説明書をお読み下さい。
また、この取り扱い説明書は大切にお手元に保管してください。
火災、感電、けがなどの事故を少なくするため、次に述べる安全上の注意を必ず守って下さい。

「シンボルとシグナル用語」の意味について

警告、注意文の頭部の表示　▲警告　▲注意　を意味します

▲警告　誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

▲注意　誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

▲ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保って下さい。
2. 作業場の周囲状況も考慮して下さい。
   ●電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で絶対に使用しないで下さい。
   ●作業場は、十分に明るくして下さい。
   ●可燃性の液体やガスのある所で使用しないで下さい。
3. 感電に注意して下さい。
   ●雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で絶対に使用しないで下さい。
   ●電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにして下さい。
   （例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
   ●切断や研磨の作業の際、水、研磨液などは、使用しないで下さい。
4. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用して下さい。表示を越える電圧で使用すると回転が異常に高速になり、故障や事故の原因になります。
5. 作業中、無理な負荷をかけたり、銘板に表示してある定格使用時間以上の連続使用をすると、モーター部、電子制御部が発熱し故障の原因になります。
   ●安全に能率よく作業するために、製品の能力に合った速さで作業して下さい。
   ●小型の電動工具は、大型の電動工具で行う作業には使用しないで下さい。
6. 作業中は、手、目や顔を刃物に近づけないで下さい。
7. 子供を近づけないで下さい。
8. 使用しない場合は、きちんと保管して下さい。
   ●乾燥した場所で、子供の手が届かない所に保管して下さい。
9. 指定された用途以外での使用は絶対に行わないで下さい。
10. きちんとした服装で作業して下さい。
    ●だぶついた衣服や、長い髪の毛などは、駆動部に巻き付いたりするおそれがあります。
    ●巻き込み事故の防止のため、手袋等の着用は絶対にしないで下さい。
11. 作業中は保護メガネを使用して下さい。粉塵の多いところでは、防塵マスクを併用して下さい。
12. コードを乱暴に扱わないで下さい。
    ●コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないで下さい。
13. コードを引っ張られたり、引っ掛けたりしないようにしてください。
14. 使用中は、振り回されないような本体を確実に保持してください。
    確実に保持してないと、はずれたり、けがの原因になります。
15. 無理な姿勢で作業をしないで下さい。
16. 水、研磨液などは使用しないでください。感電事故のもとになります。
17. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。事故の原因になります。
18. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて下さい。
    ●使用しない場合、または修理する場合。
    ●刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
19. 刃物、砥石、ビット等の付属品の取付け、及び交換は取扱い説明書に従って確実に取付けて下さい。確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。
    作業に入る前には、必ず試運転をして下さい。
20. 先端ビット（アクセサリー）は純正品もしくは同等品を使用してください。
    異なるものを使用されると、過負荷からモーター焼けなど故障の原因となるだけでなく、けがの原因になります。
21. 電源を入れる前に、付属品の取付けに使用したキーやレンチ等の工具類が取外してあるか確認して下さい。
22. 先端ビット（アクセサリー）のシャフトが曲がったものや、砥石などにヒビ、割れなど異常がないことを確認してから使用してください。異常があると、砥石が破損し、けがの原因になります。
23. 新しい砥石を取付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から一時身体を避けてください。砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
24. 指定以外の先端ビット（アクセサリー）で切断作業はしないでください。
25. 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れている（OFF）事を確認して下さい。
26. 屋外で延長コードを接続して使用する場合、屋外使用に合った延長コードを使用して下さい。
27. コードを引っ張られたり、引っ掛けたりしないようにしてください。
28. 電動工具は、注意深く手入れをして下さい。
    ●刃物類は、常に手入れをし、よく切れる状態を保って下さい。
    ●注油や付属品の交換は、取り扱い説明書に従って下さい。
    ●コードは定期的に点検し、損傷している場合は、メーカーに修理（有償）の依頼をして下さい。
    ●握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにして下さい。
    ●駆動部、可動部、カバー部、スイッチ部やその他に損傷がないか十分に点検し、正常に作動しているか確認して下さい。異常がある場合はメーカーに修理（有償）の依頼をして下さい。
29. 誤って落したり、ぶつけたときは、先端工具（刃物類）や本体に破損や亀裂、変形がないことをよく確認して下さい。そのまま使用すると、事故の原因になります。異常のある場合はメーカーに修理（有償）の依頼をして下さい。
30. 本製品は、該当する安全規格に適合していますので、改造は絶対に行わないで下さい。
31. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店またはメーカーまで点検、修理を依頼してください。（有償修理）
    そのまま使用していると、事故の原因になります。
32. 修理は必ず弊社までお申し付け下さい。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

◆その他、取扱いしご不明の点があった場合、弊社までお問い合わせ下さい。

■仕　様

電　源/AC100V・50/60Hz　消費電力/100W
定格使用時間/15分　絶縁構造/二重絶縁回
振動数/2,900回/分　寸　法/長さ220mm・重さ850g

■用　途

鉄板、アルミ板、ステンレス板の切断加工

■付属品

・切断ガイド　・L型レンチ 1本

■マイクロ・ニブラご使用上のご注意

先に一般工具と共通の注意事項を述べましたが、マイクロ・ニブラとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

▲ 警 告

・切りくずは、鋭くとがっており非常に危険です。手、指で絶対に触らないでください。取り除く時は、はけまたはブラシなどで取除いてください。
　その後、掃除機で掃除してください。
・目を保護する保護メガネを着用して下さい。
・作業中は、目を先端工具部分に近づけないでください。
・機体や先断刃に衝撃をかけますとヒビが入ったりする恐れがありますので、取扱いには十分注意してください。
・必要以上に押え付けないでください。作業効率が悪いだけでなく、機械に余分な負担がかかり、故障や先断刃の変形、破損事故の原因となります。
・万一機体を誤って ぶつけたり、落としたりしたときは必ず切断刃の変形や、機体に破損などがないことを十分にご確認ください。

▲ 注 意

・定格時間以上の連続使用はしないでください。定格使用時間…15分

・長時間使用する場合は、指定の定格使用時間で必ず一度スイッチを切り（OFF）、約15分たってから使用してください。

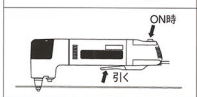
■電源の接続とスイッチ操作

▲ 警 告

・電源コード先の電源プラグを電源コンセントに接続するときは、必ずスイッチが切れていることを確認してください。スイッチが入ったまま電源を接続すると危険です。
・使用後や点検、先断刃の交換の際は、必ず電源プラグを電源コンセントから外してください。

電源コード先の電源プラグを、所定の電源コンセントに確実に差し込んで接続します。
電源の接続ができましたら、スイッチを操作します。

〔メインスイッチ〕
スイッチはON側を押すと入り、OFF側を押すと切るとなります。
使用しない時は、必ずOFFにしておいて下さい。
※ONにした時でも、本体は作動しません。



〔トリガースイッチ〕
メインスイッチがONの時、トリガースイッチを引くと電源が入り、本体が作動します。
トリガースイッチをはなすと、電源が切れます。

切断作業を行う時、ノズル穴（切りくず排出口）を切断進行方向に向けます。
ノズル部は自由曲線が切れるように回転します。

切断作業の際、時々ノズル穴より油をさしてください。
ただしアルミの切断の場合は、切断長さ約10cmごとに行ってください。

切断作業を行う時は、本体を必ず材料と平行に保って作業してください。

定格時間以上の連続使用しないでください。
定格使用時間 15分

切断能力/
鉄板・真鍮板　0.8mmまで
アルミ板・プラスチック　1.5mmまで
ステンレス板　0.5mmまで

保守と点検

●使用後は、粉塵などを取り除いて保管してください。
●使用後は、次回の使用に備えてネジ類のゆるみや、異常な箇所が無いことを確認しておいてください。
　万一、異常があったときはそのまま放置せず、お買上げの販売店またはメーカーに点検、修理を依頼してください。（有償修理）
●本体の汚れは乾いた布で軽く汚れを拭き取るようにしてください。
●本体は防水構造ではありませんので、絶対に水などを付けて洗ったり、拭いたりしないでください。
　また、絶対に揮発系の溶剤やガソリン、シンナーなどでも洗ったり、拭いたりしないでください。
　変形、変色の原因となります。
●保管は小さい赤子様の手の届かない、室内の安定したところにしてください。
　また、湿気がなく、直射日光の当たらない涼しい場所で、高温にならないところに保管してください。

アフターサービス

●保証について
　保証期間（6ヶ月間）中の故障につきましては、無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは下記「保証規定」をご覧ください。）
●万一故障が発生した場合
　故障または修理をご依頼される場合、アフターサービス係までご連絡ください。

アフターサービス係　受付時間　月～金（祝日除く）
9:00～12:00・13:00～17:00

直通ダイヤル　☎06-6693-5353

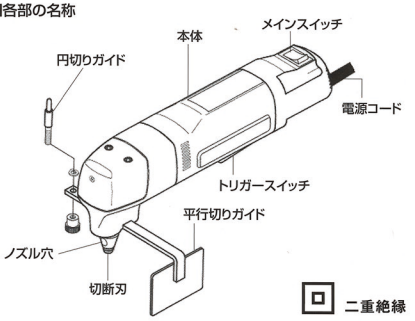
修理をご依頼の場合、修理品は下記まで直接お送りください。
尚、送料はお客様のご負担となります。

●補修用部品の保有期間について
　この商品の補修用性能部品（商品の特性を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、3年間保有しております。

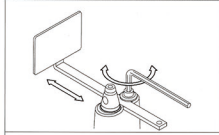
010WT9001A

〈保証規定〉
1.使用説明書、本体注意書きラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に、万一故障した場合は、本保証書を本製品に添付のうえ、お買い求めになった販売店、または当社までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理します。この場合の交通費、送料および諸掛り費用はお客様のご負担となります。なお、代替品および出張修理は致しません。
2.保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
　① 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または破損。
　② 指定の定格使用時間以上の作業による故障または破損。
　③ 指定以外の先端パーツ、および別売部品を使用した場合の故障または破損。
　④ 使用による、本体内部の消耗部品および先端パーツ（刃物、砥石、ビットなど）の消耗による、故障または破損。
　⑤ 他社製の部品の使用に起因して生じた故障または破損。
　⑥ 移動時の落下等による故障または破損。
　⑦ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および破損。
　⑧ 保証書のご提示がない場合、または本保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き替えられた場合。
3.商品に含まれている、本体以外の部品（先端ビット類、のこ刃類、刃物類、砥石ヤスリ類、エアーブラシなど）は、保証の対象になりません。
4.本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については、当社は責任を負わないものとします。
5.本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
6.本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。

■各部の名称



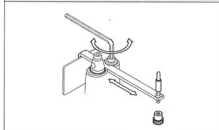
平行切りガイドを使用して切断作業をする



平行切りガイドの取り付け
付属のL型レンチで平行切りガイドを取り付けます。切断する材料の幅に合わせて平行切りガイドを固定します。
※刃物の切断の切りシロがあるので正確な幅での切断はできません。
※平行切りガイドを使用しての、切断幅は最大85mmです。

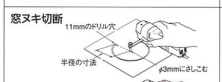
平行切りガイドは、右側／左側でも取付が可能です。
図の様に、材料の端に沿って進ませて、ゆっくりと切断します。

円切りガイドを使用して切断作業をする



平行切りガイドを平行切断時と逆向けに取付け円切りガイドとして使用します。
切断する円の大きさを決めて付属のL型レンチで固定します。
※刃物の切断の切りシロがあるので正確な半径での切断はできません。
※円切りガイドを使用しての、最大の円の大きさは直径約16cmです。

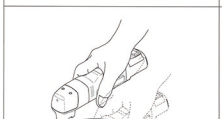
窓ヌキ切断



窓ヌキを切る場合
円切りガイドのセンター穴用に3mm穴をドリルであります。切り抜く大きさの半径の所に、刃物の切り初めの穴、11mm穴をドリルであける。

円板を切断

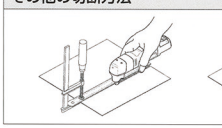
円板を切断する場合
切断する板の端から円の半径の位置に円切りガイドのセンター穴に3mm穴をドリルであけます。



〔特許出願中〕

自由曲線を切断する場合
自由曲線で中ヌキする場合、刃物の切り初めの穴、11mm穴をドリルであけて下さい。
材料の端から自由曲線を切断する場合は穴をあける必要がありません。本体をしっかり持って、切りたい曲線の通りにゆっくり進めて切断していきます。自分の切断したい方向にノズルが回転しますので本体を持ち変えたり、本体を回転させる必要はありません。
但し、正確な動きはできませんので切断後の仕上げが必要です。

その他の切断方法



図のような切断方法も可能です。

切り離してお使い下さい